

Program

シューベルト：
ピアノ・ソナタ 第13番 イ長調 D664 Op.120
Schubert: Piano Sonata No.13 in A Major, D664 Op.120

シューマン：
ピアノ・ソナタ 第1番 嬰へ短調 Op.11
Schumann: Piano Sonata No.1 in F-sharp Minor, Op.11

ブラームス：
ピアノ・ソナタ 第3番 へ短調 Op.5
Brahms: Piano Sonata No.3 in F Minor, Op.5

鮮烈なピアノイズムから
香り立つ馥郁たるファンタジー

Tomoharu 牛田智大

ピアノ・リサイタル

Ushida

Piano Recital

2023. 3/16 (木) 19:00開演
〈18:20開場 / 終演予定21:00〉

東京オペラシティ コンサートホール

7:00p.m., Thursday, March 16, 2023 at Tokyo Opera City Concert Hall 京王新線「初台駅」東口から直結

S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000

※料金には消費税が含まれています。※シニア料金につきましては裏面をご覧ください。
※先行販売等で満席になった場合は以降販売されない場合がございます。

【お申込み】

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

◎東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 ◎チケットぴあ t.pia.jp [Pコード: 230-028]

◎イープラス eplus.jp ◎ローソンチケット l-tike.com [Lコード: 34693]

主催：ジャパン・アーツ

11/12(土)
10:00~発売

ジャパン・アーツぴあ
オンラインチケット

11/5(土) 10:00~

25th
Anniversary

Tokyo Opera City
Concert Hall Recital Hall



鮮烈なピアノから香り立つ馥郁たるファンタジー

昨今、牛田智大のピアノは大きな進化を遂げている。音楽に対する限りのないリスペクトと愉悦、そして即興性と閃きに満ちているからだ。先日読売日響の創立60周年記念特別演奏会でショパン「ピアノ協奏曲第2番」を聴いたが、作曲家の真影に迫っていく真摯な姿勢、詩情溢れる肌理細やかな情感は比類なく、潤沢な音楽的感興を湧き起こして聴衆の心を震わせた。

そもそも牛田智大との最初の邂逅は2010年3月。筆者が審査員を務めていた日興文化協会主催国際ヤング・ピアニスト・コンクールでの優勝だった。その時のシューベルトに審査員は全員驚嘆した。また2年後の浜松国際ピアノ・アカデミーのコンクールでも優勝、この時は現在世界で活躍するベアトリーチェ・ラナ(当時の表記はラナ・ベアトリス)との同時優勝であったが、当時音楽監督の任にあった故中村絃子さんは、筆者にそと「彼は100年に1人の天才よ」と囁いた。

それから11年、ひたすらに研鑽を積み、多くの経験と実績を重ねてきた牛田智大は2022年、23歳を迎えた。そして臨む今回のリサイタルはシューベルト、シューマン、ブラームスのそれぞれのソナタ。これまでの彼のレパートリーとは少々異なる意欲的なプログラムであり、ここにもひとりの青年ピアニストとしての確固たる矜持と気概が十二分に感じられるのである。

もとより演奏とは奏者の人となりをも写し出す鏡であり、その人間性、音楽性が色濃く反映する。ゆえに彼のシューベルト、シューマン、そしてブラームスには温かさや自然な呼吸感が息衝き、みずみずしく詩的な潤いと情緒纏綿たる彩りが湛えられるだろう。彼の持つ研ぎ澄まされた美音、グラデーションのように千変万化する色彩感、生命力溢れるフレーズ、儂く、しかし存在感に満ちたピアノシモ、そして伝統的ソナタ形式を踏襲した構成観は、輝かしいというよりは嫺やかで繊細極まりなく、巧緻な叙情表現となって、作曲家や作品の内省からの心象風景や葛藤を描き出すに違いない。

彼のピアノは鮮烈だ。それは大上段から振りかざす押しつけがましい音楽では決してなく、作曲家たちが拠り所としたドイツ・アカデミズムに根差しながら香り立つ馥郁たるファンタジーだ。牛田智大の新たな魅力が炸裂する。

——— 真嶋雄大 (音楽評論家)

©Ariga Terasawa

ともはる
牛田智大

〈ピアノ〉
Tomoharu Ushida,
Piano

2018年第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、併せてワルシャワ市長賞、聴衆賞を受賞。2019年第29回出光音楽賞受賞。1999年福島県いわき市生まれ。2012年、クラシックの日本人ピアニストとして最年少でユニバーサル ミュージックよりCDデビュー。これまでに、ベスト盤を含む計9枚のCDをリリース。

シュテファン・グラダー指揮ウィーン室内管(2014年)、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管(2015年/2018年)、小林研一郎指揮ハンガリー国立フィル(2016年)、ヤツェク・カズプシク指揮ワルシャワ国立フィル(2018年) 各日本公演のソリストを務めたほか、全国各地の演奏会で活躍。その音楽性を高く評価され、2019年5月にはプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管モスクワ公演、8月にワルシャワ、10月にはブリュッセルでのリサイタルに招かれた。

2022年3月、デビュー10周年を記念して開催されたリサイタルは各地で好評を博した。この時サントリーホールで収録された音源が「ショパン・リサイタル2022」として同年8月にリリースされた。

特別割引チケットのお知らせ

ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付

◎シニア・チケット

65歳以上の方はS席¥5,400/A席¥4,500でお求めいただけます。

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。

(ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付)

(次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ) ①やむを得ない事情により、曲順・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお、就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。⑩公演実施の可否は新型コロナウイルスの感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。

Twitterでフォローする
@japan_arts

繊細なタッチから紡ぎだされる美しい音色。デビュー10周年に贈る珠玉のショパン!

牛田智大

(ピアノ)

ショパン・リサイタル2022

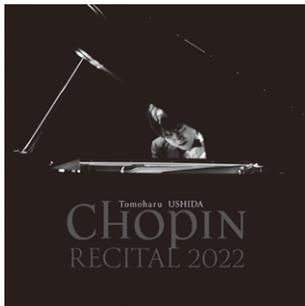
フレデリック・ショパン(1810-1849)

- ① 幻想曲 へ短調 作品49
- ② バラード 第4番 へ短調 作品52
- ③ ポロネーズ 第6番 変イ長調 作品53《英雄》
- ④ 舟歌 嬰へ長調 作品60
- ⑤ ポロネーズ 第7番 変イ長調 作品61《幻想》
- ⑥ マズルカ 第49番 へ短調 作品68の4(遺作)

NOW
ON
SALE

UCJ
Japan

録音: 2022年3月 東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホール



CD

UCCY-1115 ¥3,300 (税込)



BD

UCXY-1003 ¥5,500 (税込)



DVD

UCBY-1007 ¥4,180 (税込)

発売・販売元: ユニバーサルミュージック